



# 沓掛小学校だより

5 月号

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

NO. 566

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

## 「かがやく瞳」の子供たちを育てる

副校長 榎本 純子

91名のかわいい1年生を迎え、全校児童585名で新学期がスタートしてから1カ月が過ぎようとしています。初めて副校長という職に就き、あわただしい日々を過ごしてきましたが、そんな中でも「かがやく瞳」をもったたくさんの子供たちに出会いました。そのいくつかを御紹介します。

まず何といっても「6年生の素晴らしさ。」です。沓掛小学校では、毎週月曜日の全校朝会は6年生のあいさつから始まります。大きな声で今週の予定や目標を話し「おはようございます。」と挨拶をしています。その立派な姿勢を見て同じように真似をする低学年がたくさんいます。

ある日、1年生が6年生と一緒に職員室に来ました。中に入りたいようなのですが、どうしたらいいかわからずもじもじしています。すると一緒にいた6年生が「まずはドアをたたくんだよ、そして失礼しますと挨拶をして。」と、一つ一つ丁寧に説明し「じゃあ、やっごらん。」と促しているのです。代わりにやってあげるのではなく、沓掛小の決まりをしっかりと伝えている6年生。教えている6年生もできるようになった1年生もとてもいい表情をしていました。

こんなこともありました。中休みの終わりに、誰が使ったのかわからない竹馬が一つ落ちていたので、私が片付けようとしていると「先生、手伝います。」と中学年の子供たちがかけ寄ってきてくれたのです。「面倒くさいことはしたくない。」という子供が多いと言われていますが、沓掛小には心やさしい子供たちがたくさんいます。

先日の土曜授業で御覧になった方もいると思いますが、いつ授業を見て回っても、どのクラスも落ち着いて学習に向かうことができます。集中してノートをまとめている子、以前から行っているペア学習で一生懸命話し合っている子等、わずか1カ月の間にぐんぐん成長する子供たちの姿に驚きの毎日です。

このように子供たちが落ち着いた生活を送っているのは、保護者や地域の方々の支えが大きいからだと思います。毎週木曜日の「お話し会どんぐり」、金曜日の「ふれあいフライデー」、園芸ボランティアの方々、登下校を見守ってくださっている安全支援隊の方々、PTA役員をはじめとする保護者の方々等、実に多くの方々が子供たちを見守ってくれています。これほどまでに地域の方々が協力的な学校はあまりないように思います。

この恵まれた環境の中、私たち教職員も力を合わせて子供たちの力をさらに伸ばしていこうという気持ちを新たにしています。職員室では、若い教員とベテランの教員が一緒になって明日の授業の内容を話し合っている姿をよく見ます。子供たちの様子についても情報交換を日々行うよう心がけています。保護者の皆様、地域の皆様には遠慮なく私たち教職員に声をかけていただき、共に「かがやく瞳」をもつ子供たちを育てていければと思います。今後とも変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願いいたします。